

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

オリンピックを成功に導いた人々の物語 『スポーツ 歴史の検証 1964年 東京大会を支えた人びと』刊行

笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：渡邊一利 以下：SSF）は、日本のスポーツを牽引し、輝ける足跡を残した方々にお話を伺い、スペシャルサイト「スポーツ 歴史の検証」でご紹介しています。このたび、「1964年 東京大会を支えた人びと」をテーマに「スポーツ 歴史の検証」第62回から第72回にあたる11回分のインタビューをまとめ、単行本として刊行しました。

登場するのは記者や選手村スタッフなど、1964年東京大会を裏側から支えた方々です。オリンピックと直に触れ合った選手村の理容師・遠藤澄枝、料理人・鈴木勇に、開会式で白い飛行機雲の五輪を描いたブルーインパルスの編隊長・松下治英、国旗を任された大学生・吹浦忠正。日本のためにとという思いでひとつにつながり、1964年東京大会を成功に導いた物語を、ぜひご覧ください。

<http://www.ssf.or.jp/research/books/tabid/1768/Default.aspx>



ヘーリングの散髪をする遠藤氏



ブルーインパルスによる五輪マーク



選手村の食堂のメニュー



『スポーツ歴史の検証 1964年 東京大会を支えた人びと』

判 型：四六判 360 ページ

出 版 社：新紀元社

企画・制作：笹川スポーツ財団

定 価：本体 1,800 円（税別）

コンテンツ：

吹浦忠正 国旗にまつわる東京オリンピック秘話

杉山茂 オリンピックの歴史に刻まれた「テレビ放送技術の革新」

野崎忠信 「不正スタート対策」に奔走した陸上競技スターター

島田晴雄 トップ通訳として見た「東京オリンピック」

星野綾子 間近で見た「オリンピック・ムーヴメント」

宮澤正幸 日本のメディアはオリンピックで何を伝えたのか

村越愛策 1964年をきっかけに世界へ広がった「ピクトグラム」

吉田紗栄子 人生の転機となった「1964年東京パラリンピック」

鈴木勇・遠藤澄枝 「日本のために」という使命感があった選手村スタッフ

野村銀市 日本復興に不可欠だったスポーツの存在

熊谷康・松下治英 「成功させたい」気持ちで一致団結していた 1964年東京大会